

3 私たちが感じた地域の問題・課題

自然環境分野 問題から課題

川について
感じる問題

- 生活排水による源流部からの川の水質の悪化。



課題

- 生活排水をきれいにする。
- 生活排水の浄化効果を把握できるような活動を広めよう。

- 宅地化や開発、里山里地の荒廃により、土地の保水力が減少し、川の水も少なくなっている。



課題

- 川に水をもっと増やそう。
- 雨水の利用を広めることで竜田川流域の水量を高める。(雨水が一気に川に流れ込むのではなく、ゆっくりと川に流れ込む環境を整え、年間を通じて、川に水が流れるようにする)

里地について
感じる問題

- 高齢化などによる遊休農地の増大や竹林の侵食。



課題

- 遊休農地の減少を図る。
- 市民が関わる農園を増やす。

山地について
感じる問題

- 化石燃料の利用などにより、人の生活と疎遠になり、山林の管理がなされず荒れ放題のところが増え、竹林にも侵食されている。



課題

- 森林の手入れをしよう。
- 山林を管理する事業者を市民が応援・所有することで山林を保全する。

まちなかの緑
について
感じる問題

- 市街化区域の田畑や樹林地、古木などが減少している。



課題

- 緑を残すような開発をしよう。
- 今ある自然を大切にしよう。

環境教育
について
感じる問題

- 小中学校でも環境教育が行われているが、地元との連携や地元のことを本当に理解して行われていない。



課題

- 地域の協力を得て、地域の現状を伝える環境教育を行う。
- 学校教員に生駒の自然の状況を伝える。

📖 自然環境分野の課題を解決するためのプロジェクトは、33ページ以降をご覧ください。

せいかつ環境分野 問題から課題

ライフスタイル
について
感じる問題

- 消費サイクルが速すぎ、使い捨ての品物が多い。
- 無駄な買い物が多い。
- 本当に環境にやさしい品物についての情報がわかりにくい。

- ➡ **課題**
- ものを大切にする生活を広めよう。
 - 環境にやさしい買い物をしよう。

ごみ
について
感じる問題

- 家庭からの生ごみ、容器包装ごみが多く、リサイクルの仕組みができていない。
- 過剰包装が多い。

- ➡ **課題**
- ごみを減らす活動を広め、ごみを減らそう。
 - 容器包装ごみを減らそう。

資源利用
について
感じる問題

- 石油（ガソリン）、ガス、電気、水の無駄づかいが多く、資源循環型社会になっていない。

- ➡ **課題**
- 自分が使用している資源の量を知り、資源を大切に使う。
 - 廃食用油（使用済みてんぷら油）を回収して資源として活用する。

環境教育
について
感じる問題

- 体系化した環境教育プログラムがなく、継続して行われていない。
- ごみの分別、リサイクルが人任せで、自分の問題として感じていない。

- ➡ **課題**
- 体系化した環境教育を継続的に行う。
 - 楽しみながら環境のことを学べる場をつくる。

🔍 せいかつ環境分野の課題を解決するためのプロジェクトは、41 ページ以降をご覧ください。

環境教育の課題は、分野を越えて取り組むことにしました。
それらのプロジェクトについては、27 ページから 30 ページをご覧ください。

3 私たちが感じた地域の問題・課題

まち・みち環境分野 問題から課題

歩くこと・ まちなみ について 感じる問題

- ・ 趣あるまちなみや商店街が活かされていない。
- ・ 人・乳母車・車椅子が通りにくい。
- ・ 駅周辺では放置自転車・バイクに歩道がふさがれるため歩きにくい。
- ・ 道路保守に市民参画がない。
- ・ 街路樹や公園・緑地からの落葉の清掃、害虫などの問題が発生しているが管理が困難。
- ・ 歩くための道に緑がなく、歩く気にならない。
- ・ 通過するだけの道になっている。
- ・ 犬の糞、ごみやタバコのポイ捨てがある。



課題

- ・ 歩きたくなるたのしいまち・みちをつくろう。
- ・ 自家用車に頼らない生駒をつくろう。

公共交通 について 感じる問題

- ・ 市内各地から駅や諸施設に行くのが不便。
- ・ 移動方法がないか、もしくは不便な地域がある。
- ・ 高齢者や障害者や怪我をした人、乳幼児を抱えた人、車を運転できない人の移動が困難。
- ・ 送迎車両・路上駐車で、駅前の交通渋滞が頻発。



課題

- ・ 公共交通を安くて便利で楽しく使いやすくする。
- ・ 交通手段がない地域をなくそう。
- ・ 交通弱者をなくす。

自転車 について 感じる問題

- ・ 自転車が安すぎるために大切にされず、安易に買い換えられている。
- ・ 自転車が交通手段として理解されていない。
- ・ 道路が狭く、自転車の通行が危険である。



課題

- ・ 環境に優しく、健康づくりにも有効な自転車を交通手段に組み込もう。

車 について 感じる問題

- ・ アイドリングストップやエコドライブをする市民・事業者が少ない。
- ・ 送迎車両で、駅前の交通渋滞が頻発。



課題

- ・ アイドリングストップ、エコドライブをする市民・事業者を増やす。
- ・ 自家用車に頼らない生駒をつくろう。

☞ まち・みち環境分野の課題を解決するためのプロジェクトは、49 ページ以降をご覧ください。

エネルギー環境分野 問題から課題

日常生活での
エネルギー
使用について
感じる問題

- エネルギー消費の多い生活スタイルになっている。
➡ **課題** [・ エネルギーを効率よく使うライフスタイルを広めよう。]
- 省エネ情報が不足している。
➡ **課題** [・ 省エネ情報を見つけ、広めよう。]

新しい
エネルギー源
確保について
感じる問題

- 雨水利用が普及していない。
➡ **課題** [・ 雨水利用を広めよう。]
- 自然エネルギーが普及していない。
➡ **課題** [・ 自然エネルギーを広めよう。]

企業活動に
伴うエネルギー
使用について
感じる問題

- 24時間、深夜営業の店が多くなっている。
➡ **課題** [・ 終夜、深夜営業を見直そう。]
- 自動販売機が多い。
➡ **課題** [・ 不要な自動販売機を減らそう。]
- 冷暖房を過剰に効かすことがサービスとされている。
➡ **課題** [・ 過度な冷暖房を減らそう（店舗や施設など）。

🔍 エネルギー環境分野の課題を解決するためのプロジェクトは、63ページ以降をご覧ください。